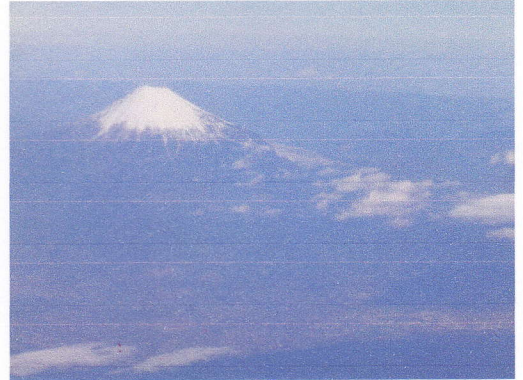


野の花新聞

No. 8 2011年1月号 「心のブレーキ」

みなさま こんにちは。野の花の みなかた あきこ です。
新しい年の始まり。みなさまは、どんなふうを迎えておられるのでしょうか。
今年はオープン一周年のイベントや、リニューアルオープンを計画中です。
もっと喜んでいただけるサロン、「元気になる時は野の花よね」と 言って
いただけるサロンを目指して、進んでいきたいと思っています。
今年もよろしくお願いいたします。

さて、今月は、心のブレーキがはずれた、最も古い記憶を。



子どもの頃、何をしても人より劣っているという感覚が ごくあたりまえにありました。
小学生の時、特に苦手だったのが 絵。今でも 相変わらず絵を描くのは苦手ですが、それで自分を否定することはありません。劣等
感のかたまりだった子どもの頃の私は、図工の時間になると 消えてしまいたいくらいつらかったのです。
ところが・・・

ディズニーのキャラメルが大人気になったことがありました。

小さな箱全面に ミッキーやドナルドの顔が描かれています。その絵を見ているうちに、とても簡単な線で構成されている気がしてき
きました。試しに 見ながら描いてみると、なんと、ミッキーそのものです！まったく修正することなく、まるで一筆書きのようにさら
っと描けてしまったのです。

次の日、学校へ空き箱を持って行き、「ねえ 見とって」と描いてみせると、私の周りにはたちまち人だかりができました。

友だちが次々持ってくる絵を、ぱっと見て さらさらっと描いてしまうのです。「こんなに簡単なことなんだ」という喜びでいっぱい
になりながら。

残念なことに、3日ほどで 私は元の おどおどした子どもに戻ってしまいました。

あの時の感覚は 今でも鮮やかに覚えています。ただただ、楽しかったのです。「できない」とは、これっぽっちも思いませんでした。
ずっと 不思議な思い出として残っていましたが、心のブレーキをはずせば、大きな力を 楽しんで発揮できることを今では知ってい
ます。

不思議なことではなかったのですね。

ただね・・・いつもブレーキを自由にはずせるところまでは まだ・・・



なな

眠い・・・なんで起こすの

